

内部質保証シート（附置施設・委員会等用）

- A 例年を上回る良い状況
- B 通常の範囲内
- C 要経過観察
- D 改善を要する

2024年度の重点目標（学長／内部質保証推進委員会）

①昨年度に引き続き、内部質保証のPDCAサイクルと一体化した中期経営計画を推進する。

②昨年度に実施した自己点検・評価シートにより顕在化した改善課題等を把握し、取り組むべき課題を適切に取捨選択するものとする。

③その他、各部局等において可及的速やかに処理しなければならない改善課題、外部評価委員会で指摘された改善課題、内部質保証に係る各種方針の実現、新規制度等の実効性や有効性の検証などの事項について、あらゆる課題を全てPDCAサイクルに乗せる必要はなく、重要性や年度内の解決可能性などを考慮して取り組むべき課題を適切に取捨選択するものとする。

		～5月末まで		～6月第2週まで			6月 第3週	7月～翌年3月			翌年6月 第3週				
部局名	委員長議長	関連部署	自己点検・評価 (Check)		改善計画・アクションプラン (Plan)			内部質保証推進組織による 所見または提言、助言、指示等			計画の取組状況 (Do)		取組状況の評価 (Check)		
			評価	概要	改善課題 (Action)	課題/改善目標	期 限	方法・手順	具体的な取組状況	取組の成果	進捗状況	内部質保証推進組織による所見	公表状況		
大学評議会	原田	庶務部学長室 担当	A	通常業務を円滑に遂行した。	特になし		2025年3月		委員会において承認			完了	助言、指示等は特にないため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
執行役会	原田	庶務部長	A	通常業務は円滑に遂行しているが、幾つかの課題を抱えている。そのひとつが、法人との円滑な意思疎通である。	法人本部からの要請に対し、学長が一人で対応する仕組みについて改善の余地がある。	学長が一人で矢面に立たないように、執行役会のメンバーに法人との意思疎通ができる人材を加える必要がある。	2025年3月		委員会において承認			完了	助言、指示等は特にないため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
自己点検・評価委員会	原田	庶務部学長室 担当	A	通常業務を円滑に遂行した。	教員の負担を軽減するために、報告書作成に対する法人の協力体制の構築が必要である。	次回の報告書作成に向けた準備	2025年3月		委員会において承認			完了	助言、指示等は特にないため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
危機管理委員会	原田	庶務部学長室 担当	A	危機管理基本マニュアルを大幅に改定し、第2版として整備した。(令和5年11月) また通常の危機管理員会とともに、事業(例えば違法薬物など)に応じて危機対策本部を立ち上げて、事件の対応を行っている。	本委員会が対応する危機は、薬物乱用から盗難、災害、感染症、ハラスメントなど、非常に幅が広いため、起きることを前提とした予防措置に力を入れる必要がある。		2025年3月末		委員会において承認			完了	助言、指示等は特にないため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
IR委員会	中房	庶務部学長室 担当	B	前年度初めに活動方針として定めた「定例の活動の円滑な実行」については、最低限の取組は実施した。ただし「IR活動をさらに活性化させる施策を模索すること」についてはほとんど着手できなかった。	前年度の反省を踏まえ、IR活動の活性化策について今年度は着実に模索できるよう努めたい。	定例の事業 (1)FACTBOOK2024の作成 (2)PROGテストの実施と報告会 新規の事業 (1)卒業後アンケート調査、(2)ステークホルダーへのアンケート調査、(3)第4期認証評価の「学生からの意見収集」に対応したアンケート調査、(4)授業評価アンケート結果の分析を実施する。	2025年3月末	学長室担当を中心に企画・実施する。	対応の適切性を確認し、委員会において承認	定例の事業計画 FACTBOOKの作成が予定(5月)より大幅に遅れた(11月)、PROGテストの実施と報告会は予定通り実施できた。 新規の事業計画 (1)卒業後アンケート調査⇒7月にアンケートを実施、10月に報告会を開催して学内で調査結果を共有した。(2)ステークホルダーへのアンケート調査⇒6月から7月にアンケートを実施、10月にオンラインで報告会を実施して学内で調査結果を共有した。(3)第4期認証評価の「学生からの意見収集」に対応したアンケート調査⇒6月～7月にアンケートを実施、10月に報告会を開催して学内で調査結果を共有した。(4)授業評価アンケート結果の分析の実施⇒実施できなかった。	従前よりも、より多様な情報を収集することができたことは成果である。また各報告会の参加満足度は(1)卒業後アンケート及びステークホルダーへのアンケートが91.9%、PROGテストが84.4%であったが、個別のコメントを見ると反省点も多かった。なお定例のFACTBOOKの作成が大幅に遅れたことは大きな課題であり、作成体制そのもの見直しを要する。	完了	計画が適切に完了したことを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
全学予算委員会	原田	庶務部研究支援担当	A	通常業務を円滑に遂行した。	委員会の組織改編により、全学予算委員会は廃止として執行役会の審議事項にすることを決定した				委員会において承認				取り組みにより学部生の長期留学、短期海外研修を実施でき、一定の成果が得られた。しかし受け入れる際の宿舍の整備が行われておらず、今後、国際交流を進める上で重要なことは予算の確保と宿舍の整備である。	同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
全学FD委員会	中房	庶務部学長室 担当	B	項目により成否はあるが、所期の活動方針に照らすと、最低限の「定例の活動」はこなしたといえる。研修会の感想について集計済みのデータをもとに、概ね肯定的評価であった。ただし、研修会をはじめとする当委員会の取組が、全体としてどの程度の成果があったのかは、明確に答えることが難しい。最終的には学生の成長を促す一助になっていることが望ましいが、それを確認できるエビデンスは今のところない。さらに定例の活動に加えて「FD活動のさらなる活性化策の実行」も企図したが、達成した計画も一部あるとはいえ、なお未達の計画もあった。	(1)定例の活動の円滑な実行、(2)FD活動のさらなる活性化策の実行	(1)全学研修会の開催(2回以上/yr) (2)FD担当者研修会(アドバンス編)の開催 (3)スポーツ科学部DP検証と見直しのワークショップ (4)汎用ルーブリックの作成 目標: 2024年度内 (5)FD・SD基本方針の策定 (6)全学FD委員会規程の改正 (7)FD活動のホームページ掲載の検討 (8)授業アンケートの質問項目の見直し	2025年3月末	全学FD委員会を中心に企画・実施する。	対応の適切性を確認し、委員会において承認	(1)全学研修会の開催⇒予定通り、6月にアカデミックハラスメント、9月に第4期認証評価をテーマにした研修会を実施した。(2)FD担当者研修会(アドバンス編)の開催⇒予定通り、西野親朗講師により研修会を9月に開催した。(3)スポーツ科学部DP検証と見直しのワークショップ⇒未実施。(4)汎用ルーブリックの作成⇒未実施。(5)FD・SD基本方針の策定⇒3月に策定。(6)全学FD委員会規程の改正⇒全学的な委員会規程の見直しに伴い未実施、翌年度に改正予定。(7)FD活動のホームページ掲載の検討⇒未実施、翌年度に実施予定。(8)授業アンケートの質問項目の見直し⇒今年度は見直ししないことを決定した。	各研修会の参加者数はアカデミックハラスメントが105名、第4期認証評価が45名、FD担当者研修会が16名であった。各研修会の参加満足度は、アカデミックハラスメントが96.7%、第4期認証評価が45%、FD担当者研修会が100%であった。なお個別のコメントには反省事項も多く指摘された。	完了	計画が適切に完了したことを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
研究公正委員会	植木	庶務部研究支援担当							委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
研究推進委員会	石川(昌)	庶務部研究支援担当	B	他大学と協力して、大型研究案件を申請したが、不採択となった。	本年度も他大学と協力して、地域中核・特色ある研究大学の振興事業の申請に取り組む。	申請者間で、採択に向けての取り組みを検討する。	申請締め切りの10月まで	研究推進委員会と申請メンバーで検討する。	対応の適切性を確認し、委員会において承認	申請メンバーと申請内容の確認。	10月末申請済み。	完了	計画が適切に完了したことを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
学生委員会	高本	教学部学生支援担当							委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
全学入試委員会	植木	入試部							委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	

全学教務委員会	池島	教育学部教務担当						委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
競技力向上委員会	松田	スポーツ局						委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
広報・ブランディング委員会	藤本	広報室						委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
全学教職課程委員会	成瀬	教職支援センター	A	教職に関する専門業務の円滑化を図るために、日頃からスポーツ科学部・教育学部・教職支援センターの委員が情報共有を行うなど、より機動的に委員会が機能するようにした。	2024年度教員採用試験を6月16日(標準日)と前倒しをしたが、文部科学省は2025年度は5月11日(標準日)とさらに早くすることを発表した。また、教員採用試験の志願者減も影響し、大学等推薦制度を活用する自治体が増えている。これらのことを踏まえて、「教員採用試験対策講座」の改善、「大学推薦」の円滑な実施方法について検討することが必要となる。	「教員採用試験対策講座」の課題を明確化し、講座内容、受講対象者などのさらなる改善を行う。教員採用試験「大学推薦」の推薦基準、面接担当者、学生指導などの改善を行う。	2025年3月	「教員採用試験対策講座」のアンケート調査結果を分析し、改善方針を検討する。教員採用試験「大学推薦」は、各自治体の実施状況を分析し、それを基に改善方針を検討する。	委員会において承認	「教員採用試験対策講座」は、前年度のアンケートを基に、各担当者が授業改善を行った。また、新たに教員採用試験に合格した学生の体験を聞く時間を作った。教員採用試験「大学推薦」については、選考委員会委員長を全学教職課程委員会の委員長が行うよう変更したり、選考委員の人数を2名減らし4名にするなど、より機動的に動けるようにした。また、審査基準・審査方法も改善した。	「教員採用試験対策講座」の今年度のアンケート結果を見ると、意欲的に取り組んでいることが明らかになった。また、参加人数も増えた。「大学推薦」の内部選考も、円滑に行われている。	実施中	取り組みが継続中であることを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
施設検討委員会	神崎	庶務部	B	通常業務を円滑に遂行した。	学内における施設・設備の点検・修繕が滞っているため、迅速な対応ができる仕組みを検討する必要がある。高額な施設整備を計画的に進める必要がある。	必要な予算の確保と優先順位 必要な整備の迅速な対応	2024年9月	施設検討委員会にて施設担当と協議して確認、順次推進する。	委員会において承認	ラーニングコモンズ×デジタルスポーツスクエアの完成 教材スタジオは予算の関係で保留 軽微な補修等は随時進行中 セミナーハウス1階の改修	デジタルスポーツの推進に向けての準備が進んだ。学生を支援する施設の整備が進んだ。	完了	計画が適切に完了したことを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
外部評価委員会	原田	庶務部学長室担当	A	通常業務を円滑に遂行した。	外部評価委員の入れ替えなど、適切な人材配置案を事前に作成し、コンタクトする必要がある。				委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
ハラスメントの防止等 専門委員会	神崎	庶務部学長室担当	B	パンフレットや相談委員の配置をした。 特に扱う事案はなかった。	特になし	ハラスメントの防止に向けた取り組みの実施	2024年9月	FD・SD研修会を実施	委員会において承認	委員会の改編作業で、人権委員会の中に「ハラスメント部会」として名称を変えて入れることを検討中	特に問題は出てこなかった。	完了	計画が適切に完了したことを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
人権教育委員会	三島	庶務部	B	通常業務を円滑に遂行した。	特になし				委員会において承認				助言、指示等は特にないため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
個人情報保護委員会	植木	庶務部							委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
障がい学生支援委員会	竹内	教育学部							委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
学生懲戒諮問委員会	池島	教育学部学生支援担当							委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
キャリア支援委員会	伊原	キャリア支援部	B	通常業務を円滑に遂行した。	キャリアフェスタでの教員負担を軽減するために、当日人員配置等の検討が必要である。	キャリアフェスタ等のイベント実施の際の人員配置の検討。	2024年7月	委員会にて人員配置を提案	委員会において承認	8月開催のキャリアフェスタでは限られた人員でイベントを実施。2月のキャリアフェスタでも人員配置を調整。	適切な人員でキャリアフェスタを実施することができた。	完了	計画が適切に完了したことを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
内部質保証推進委員会	神崎	庶務部学長室担当	B	内部質保証システムは構築したものの十分には機能していない。	教職員への啓蒙活動と教職協働での推進が課題である	自己点検・評価との連動性の検討	2025年3月	委員会にて課題の洗い出しと教職協働システムの段階的試行	委員会において承認	自己点検・評価の作業停滞による内部質保証シート記入の遅れ	十分な指導、助言はできないまでもこれまで構築されていなかった制度を少しずつ動き出すことができた。	実施中	取り組みが継続中であることを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
図書館委員会	前島	図書館事務室	B	年間2回、委員会を開催し、図書館運営に係る事項についての協議等を行っている。2024年度は、2024年度図書館予算(2023年度より減額)より配分の図書費の予算内での執行に向けた外国雑誌の削減等の課題に特に取り組んだ。	減額となった2024年度図書費の予算内での執行に向け、次のように支出削減策を検討する。 ・外国雑誌(冊子体・電子ジャーナル)の購読中止タイトル等の検討(2025年更新時) ・一部データベース等の更新中止の検討	2024年度図書費の予算及び外国雑誌の毎年の値上がり円安による価格の高騰に照らし、約3,000万円分の支出を削減する。	2024年10月末	・外国雑誌(冊子体、電子ジャーナル)については、2024年更新時の支払い価格、業者からの2025年1月更新の見積もり額及び把握可能な利用統計等も参照し、2025年から購読を中止するタイトルを抽出する。 ・一部データベースについて、中止可能なサービスを検討する。	委員会において承認	・外国雑誌の購読中止案については、6月に開催した図書館委員会にて、図書費予算等の議題に併せて1回目の購読中止案を決議し、7月の教授会にて報告した。引き続き、10月開催の図書館委員会にて、追加の購読中止案を決議し、11月の教授会にて報告した。 ・データベースについては、和文データベースMagazinePlusの更新中止を6月開催の図書館委員会にて決議し、7月の教授会にて報告した。なお、支出削減に向けては、先ずスポーツ文献データベース SPORTDiscus with Full Text(全文情報あり)のSPORTDiscus(全文情報なし)への切替え(2024年7月更新)について、図書館委員会で決議のうえ4月の教授会にて報告したが、SPORTDiscus with Full Textによる更新の要望が出されたため、図書館以外の予算による補填により、2024年度は変更なく更新した。	取組により、約3,000万円の支出削減の見込みとなり、2024年度図書費予算による支出は、外国雑誌更新の支出を含め予算内に収まる見込みとなった。購読を中止する外国雑誌タイトルについて、必要な論文等の入手は、相互利用等を利用いただくことになり、関係の文献縮写依頼は増加すると思われるが、今後の外国雑誌等の図書館資料の充実に向けた再検討の情報とした。また、当該図書館資料の充実と併せて、今年度のSPORTDiscus with Full Text 更新時の図書館外予算からの補填分や外国雑誌の毎年の値上がり分等について充分対応できる予算組みも今後必要である。	完了	計画が適切に完了したことを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
スポーツ局運営審議会	原田	スポーツ局	B	スポーツ局の重要事項を審議する機関であり、特に事業計画・事業報告と予算・決算について審議する。	クラブ活動に関するガバナンス、特に部則の確認が必要である。	まずは各クラブの部則を確認する。必要であればスポーツ局が作成したフォーマットを利用し作成していただく。	2024年12月末	スポーツ局執行会で決定し部長監督会議でアナウンスする。	委員会において承認	9月の部長監督会議でアナウンスし各クラブに対応を呼びかけた。	各クラブから部則について問い合わせが増えている。	検討中	取り組みが継続中であることを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
スポーツ局執行会	梅林	スポーツ局							委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。

社会貢献センター運営審議会	中山	社会貢献センター							委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する			同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
社会貢献センター委員会	中山	社会貢献センター							委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する			同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
情報処理センター委員会	堤	情報処理センター	B	ラーニング・commons新設に伴うセンター窓口業務の整理と、積残しの課題「授業資料無償印刷サービス」について、 1. 管理・運営は、ラーニングcommonsを管理する「学習支援室」へ移管する 2. ラーニングcommons設置の権限管理と技術支援は引き続き情報処理センターが実施する。 3. 実際の移管作業は本年度中に情報処理センターと学習支援室が協力して実施する。 こととなった。情報処理センターより2024年4月24日付で移管作業完了の報告があったことから、本課題については「完了」とする。	オンライン教育環境を改善するため、教材作成スタジオを設置する（中期計画関係、新規課題）。	教材作成スタジオに求められる具体的な機能・役割について明確化する。また、その機能・役割を実現するために必要な最低限の仕様を定めるとともに、導入経費、維持・保守費用の概算見積もりを行う。また、設置場所、管理体制について検討する。	2025年3月末	1. 教材作成スタジオ（以下スタジオ）に求められる具体的な機能・役割の明確化のため、委員会名で大学専任教員へアンケート調査を実施する。 2. 上記調査結果を基に委員会でスタジオの仕様を検討・策定し、スタジオ導入・保守費用の概算見積もりをセンターに命じる。 3. センターからの詳細仕様、概算見積もりを基にスタジオ設置場所、管理運営方法を検討し、評議会へ報告する。 4. 評議会の結論に基づき、再度スタジオの詳細仕様についての見直しと導入費用を算定し、特別予算の申請可否を審議する。	委員会において承認	1. 令和6年度第1回情報処理センター委員会にて、教材スタジオ設置アンケートを実施し、その結果に基づき情報処理センターにて教材スタジオの仕様を策定した。 2. 令和6年度第2回情報処理センター委員会にて、策定した教材スタジオ仕様と今後の作業の進め方について審議を実施した。 3. 上記2で策定した教材スタジオ仕様についての詳細見積もりと利用率の調査を実施した。 4. 令和6年度第3回情報処理センター委員会にて、教材スタジオ設置可否については評議会の判断に委ねることを決定した。	評議会にて、当面計画を凍結することが決定された（設置費用の高さと利用率見込みの低さが理由）。	完了	計画が適切に完了したことを確認した。 『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
			B	大学ICT設備の整備に関わる中期計画の公表は、令和5年度第2回情報処理センター委員会にて大学ICT設備整備についての中期計画を策定すると共に、その公表方法を定めていることから、本課題については「完了」とする。	導入経費、保守経費の大幅な増加を前提とした中期計画の策定（新規課題）	導入経費、保守経費の大幅な増加を前提とした中期計画の大幅な見直しを実施する。	2025年3月末	1. 現有全設備・サービスについて、利用率、重要性、導入費用・維持費用の観点で見直しを実施し、優先度の低いものは思い切った削減案を、代替手段があるものは廃止を検討する。 2. 上記検討結果を基にセンターに対し中期計画（情報通信更新計画ロードマップ）の見直しを指示する。 3. 中期計画の見直しを基に、再度現有全設備・サービスの削減・廃止案を検討する。ただし、相応な痛みを伴う提案になる見込みから、本検討結果を中間報告として評議会へ報告する。 4. 評議会他での中間報告検討結果を基に再度審議を実施し最終案を策定する。	委員会において承認	令和6年度第3回情報処理センター委員会にて、情報処理センターが独自に定める「中期計画（ICT設備）」の見直しについて審議を実施した。	情報処理センターが独自に定める「中期計画（ICT設備）」の大幅な見直しが行われた。	完了	計画が適切に完了したことを確認した。 『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
			B	情報セキュリティの向上に資する具体的な取組みが継続的に行われるよう規定等の見直しを行うと共に、大学ICT設備の整備についての中期計画の項目として「情報セキュリティ関係」の欄を設けた。また、「大阪体育大学情報漏えい防止指針」の法人規程化（および大学規程規程の廃止）についても提案を行った。さらに、「令和6年度からの大学認証システムの2段階認証化」計画を破棄し、新たに「できる限り早期のパスワード認証への対応」を進めることとし（令和5年度第2回情報処理センター委員会）、特別予算の申請を実施したが（令和5年度第3回情報処理センター委員会）、本特別予算申請については、2024年度は見送りが決定している。したがって、本件については本年度詳細仕様の再策定から実施し直さなければならない状況である。	情報セキュリティの向上に資する継続的な取組みが行われていない。	パスワードの複雑さの要件の見直し、およびパスワードレス認証を令和9年度からの全面施行を目標に実施する。また、アカウントの取り扱いについての意識向上を目指す。	2025年3月末	法人・大学基盤システムの更新（2026年度を予定）に組み込む形での実施を行えるよう、 1. 方式、必要機器、概算費用の調査 2. 基本設計をセンターに命じる。また、アカウントの取り扱い方について、全教職員の意識向上を目指す講習会を行う（個人情報保護委員会他と共催する形で提案する）。	委員会において承認	令和6年度第3回情報処理センター委員会にて、情報処理センターが独自に定める「中期計画（ICT設備）」の見直しについて審議を実施し、情報セキュリティ関係事業（パスワードレス認証含む）については2026年度に他の基盤設備の更新と合わせて実施することを審議した。	セキュリティの向上を目的とした認証要件・方式の改善時期の適切性について再検討が行われ、盤設備の更新と合わせて2026年度中に整備が適当との結論を得た。	実施中	取組みが継続中であることを確認した。 『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
スポーツ科学センター運営審議会	菅生	スポーツ科学センター						委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
スポーツ科学センター委員会	菅生	スポーツ科学センター						委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
国際交流センター委員会	前島	国際交流センター	A	通常業務の遂行に加えて、学生の海外研修、協定校との合同研究発表会の実施、交流プログラムの作成を行った。	協定校との学術交流、スポーツ交流、異文化交流を推進していく必要がある。	シンガポール研修の実施、協定校との合同研究発表会の実施	2025年3月末	国際交流センターで立案、国際交流センター委員会が審議し、執行役員・大学評議会へ提案する。	委員会において承認	1.シンガポール研修実施 2.西安体育学院との相互訪問 3.学生交流プログラムの実施 4.台湾国立体育大学との研究発表会実施	今年度は計画した事業は全て実施した。	実施中	取組みが継続中であることを確認した。 『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
学習支援室運営委員会	長尾	庶務部庶務担当	A	運営委員会は年に1回開催しており、今回は、ラーニングcommons×デジタルスクエアの改修工事が進み本格稼働できる準備が整ったことや通常業務の状況の報告を行った。学習支援室の業務は関係者との細かい打ち合わせを要するものも多く、また、急いで決定する必要があることも多いため、関係する教職員は頻りに少人数の会議を行っている。一方で、運営委員会は業務に直接関わっていない構成員が多いため、活動の説明、報告が中心になっている。	ラーニング・commons新設に伴って発生した新たな学習支援室業務、コロナ禍と学習支援室主任不在期に混乱した業務の整理（前年度からの継続）	旧情報処理実習室Bを改修して完成する予定だったラーニングcommons新設計画の予算がつかず、却下された。代わりに、N号館2教室の改修による「ラーニングcommons×デジタルスクエア」において「デジタルスポーツ論」の講義室とラーニングcommonsを併用するための整備を進めることになった。	2025年3月	施設課による改修、教学課による什器の手配等について、ラーニングcommonsとして有効に機能することに配慮した提案を行う。運営スタッフ配置についての計画、調整を行う。	委員会において承認	・7月中旬より教学課とN202、N203に必要な什器等を打ち合わせし、9月に発注、11月に納品された。 ・途中、教務補佐の中途退職等があったが、職員の補充があり、中央棟ラーニングcommonsとN202、N203を併用しながら業務を行う体制ができた。	取組みの成果は学習支援室運営委員会（2/4）で確認し、さらに3月の両学部教授会で学習支援室主任が報告した。	完了	計画が適切に完了したことを確認した。 『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
学生相談室運営審議会	池島	教学部学生支援担当						委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
運動部活動改革プロジェクト	神崎	スポーツ局 教学部	B	年2回の部活動認定プログラムと年間を通じてグッドコーチ養成セミナーを実施した。	部活動認定プログラムでは受講生の確保が課題である。また自治体との連携による推進の必要がある。グッドコーチ養成セミナーは学生の質の担保と継続的な指導体制、マッチングの適性が課題である。	募集の広報を推進する。 需要に合ったプログラムの改革を推進する。 派遣学生の把握とソフトバンクとの連携を強化し、新たなコンテンツを開発する。	2025年3月	運動部活動改革プロジェクトミーティングで状況の把握と対策を検討しながら推進する。	委員会において承認	部活動認定プログラムでは、昨年度よりは申込者が減少したものの次年度以降に自治体から年50名程度の申請が見込まれる。またプログラムの受講形態を工夫したシステムを導入して、需要に対応した。グッドコーチ養成セミナーでは、派遣学生が昨年より多くなってきている。派遣学生の管理の部署を明確にする必要がある。遠隔指導の試行を検討中である。ソフトバンクとのプログラム開発は継続中である。	本学の特色のある取組みとしての評価が高まっている。	実施中	取組みが継続中であることを確認した。 『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。

内部質保証シート（附置施設・委員会等用）

- A 例年を上回る良い状況
- B 通常の範囲内
- C 要経過観察
- D 改善を要する

2024年度の重点目標（学長／内部質保証推進委員会）

- ①昨年度に引き続き、内部質保証のPDCAサイクルと一体化した中期経営計画を推進する。
- ②昨年度に実施した自己点検・評価シートにより顕在化した改善課題等を把握し、取り組むべき課題を適切に取捨選択するものとする。
- ③その他、各部局等において可及的速やかに処理しなければならない改善課題、外部評価委員会で指摘された改善課題、内部質保証に係る各種方針の実現、新規制度等の実効性や有効性の検証などの事項について、あらゆる課題を全てPDCAサイクルに乗せる必要はなく、重要性や年度内の解決可能性などを考慮して取り組むべき課題を適切に取捨選択するものとする。

		～5月末まで		～6月第2週まで			6月 第3週	7月～翌年3月			翌年6月 第3週			
部局名	委員長/議長	関連部署	自己点検・評価 (Check)		改善計画・アクションプラン (Plan)			状況計画の取組状況 (Do)			取組状況の評価 (Check)			
			評価	概要	改善課題 (Action)	課題/改善目標	期 限	方法・手順	内部質保証推進組織による 所見または提言、助言、指示等	具体的な取組状況	取組の成果	進捗状況	内部質保証推進組織による所見	公表状況
研究科委員会（研究科会議）	浜田	大学院事務室						委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
博士委員会	下河内	大学院事務室						委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
研究教育委員会	高本	庶務部研究支援担当						委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
人事委員会	浜田	庶務部庶務担当						委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
入試委員会	平川	入試部	A	年間3回（学内選抜7月、A日程9月、B日程2月）の入試の運営と、入試の即日の合否判定の会議開催、適宜必要な議題について審議・報告が行われている。	1) 学内選抜の実施日を検討する。 2) 入試問題の委嘱および提出時期を効率化する。	1) 2026年度入試から実施日を変更する 2) B日程入試における出題委員の委嘱の早期化（A日程入試における出題委員の委嘱と同日）および問題の原案提出日（A日程入試における問題提出日と同日）を一体化して実施する。	2025年3月	入試の運営に関して研究科委員会に原案を提示する際には、入試委員会で作成する。	委員会によって承認	1) 入試委員会を2回開催し、原案作成および研究科委員会にて原案を提案することができた。 2) 昨年度から継続して2年間実施することで、安定した運用にしている。	1) 研究科委員会で原案の審議提案することができ、原案通り実施することが決定された。 2) 昨年度から継続して2年間実施したことで、安定した運用にすることができた。	完了	計画が適切に完了したことを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
学生委員会	浜上	教学部学生支援担当	B	通常の業務を円滑に遂行した。	研究奨学生の選定基準の見直しを実施している。	左記に関連して、研究業績の審査の際に筆頭者か否かによってその重みづけを変える必要がある。	2024年3月末	学生委員会を開催し、委員とともに、現在の基準とその問題点（筆頭者か否かが研究業績に反映されにくい）を共有し、新たな基準について検討する。	委員会において承認	今後、学生委員会を開催し、委員とともに、現行の研究奨学生選定基準の問題点とその改善策を共有し、新たな基準の設定に向けて検討していく予定である。	取り組みにより学部生の長期留学、短期海外研修を実施でき、一定の成果が得られた。しかし受け入れる際の宿舎の整備が行われておらず、今後、国際交流を進める上で重要なことは予算の確保と宿舎の整備である。	検討中	取り組みが継続中であることを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
自己点検・評価委員会	中房	庶務部長室担当	B	通常の業務を初期の予定通り達成した。	今年度の自己点検評価に関する取組予定はなし				委員会によって承認			完了	助言、指示等は特にないため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
広報委員会	白井	広報室						委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	

内部質保証シート（附置施設・委員会等用）

A	例年を上回る良い状況
B	通常の範囲内
C	要経過観察
D	改善を要する

2024年度の重点目標（学長／内部質保証推進委員会）
<p>①昨年度に引き続き、内部質保証のPDCAサイクルと一体化した中期経営計画を推進する。</p> <p>②昨年度に実施した自己点検・評価シートにより顕在化した改善課題等を把握し、取り組むべき課題を適切に取捨選択するものとする。</p> <p>③その他、各部局等において可及的速やかに処理しなければならない改善課題、外部評価委員会で指摘された改善課題、内部質保証に係る各種方針の実現、新規制度等の実効性や有効性の検証などの事項について、あらゆる課題を全てPDCAサイクルに乗せる必要はなく、重要性や年度内の解決可能性などを考慮して取り組むべき課題を適切に取捨選択するものとする。</p>

部局名	委員長議長	関連部署	～5月末まで		～6月第2週まで			6月 第3週	7月～翌年3月			翌年6月 第3週			
			自己点検・評価 (Check)		改善計画・アクションプラン (Plan)			内部質保証推進組織による 所見または提言、助言、指示等	状況計画の取組状況 (Do)			取組状況の評価 (Check)			
			評価	概括	改善課題 (Action)	課題/改善目標	期限		方法・手順	具体的な取組状況	取組の成果	進捗状況	内部質保証推進組織による所見	公表状況	
スポーツ学部教授会	三島	庶務部庶務担当	B	通常業務を円滑に進行した。	特に改善課題はない。	改善課題はないため、改善目標等もない。		改善目標等がないため、方法・手順もない。	委員会において承認	実施すべき方法・手順がないため、具体的な取組状況もない。	具体的な取組状況がないため、取組の成果もない。	完了	助言、指示等は特にないため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
基本問題検討会議	三島		C	特に案件がなかったため、委員会は開催しなかった。	執行役会が基本問題検討会議の役割を担うことになったので、会議の存続について検討すべきである。	基本問題検討会議の廃止を検討する。	2025年3月	最終的に大学評議会に基本問題検討会議の廃止提案し、承認を得る。	委員会において承認				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
学科連絡会議	曾根(純)								委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
自己点検・評価委員会	三島	庶務部長室担当	C	特に案件がなかったため、委員会は開催しなかった。	特に改善課題はない。	改善課題はないため、改善目標等もない。		改善目標等がないため、方法・手順もない。	委員会によって承認	実施すべき方法・手順がないため、具体的な取組状況もない。	具体的な取組状況がないため、取組の成果もない。	完了	助言、指示等は特にないため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
人事審査会議	三島	庶務部庶務担当	B	通常業務を円滑に進行した。	特に改善課題はない。	改善課題はないため、改善目標等もない。		改善目標等がないため、方法・手順もない。	委員会によって承認	実施すべき方法・手順がないため、具体的な取組状況もない。	具体的な取組状況がないため、取組の成果もない。	完了	助言、指示等は特にないため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
人事委員会	三島	庶務部庶務担当	B	通常業務を円滑に進行した。	特に改善課題はない。	改善課題はないため、改善目標等もない。		改善目標等がないため、方法・手順もない。	委員会において承認	実施すべき方法・手順がないため、具体的な取組状況もない。	取組により学部生の長期留学、短期海外研修を実施でき、一定の成果が得られた。しかし受け入れる際の宿舍の整備が行われておらず、今後、国際交流を進める上で重要なことは予算の確保と宿舍の整備である。		完了	助言、指示等は特にないため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
予算委員会	三島	庶務部研究支援担当	B	通常業務を円滑に進行した。	特に改善課題はない。	改善課題はないため、改善目標等もない。		改善目標等がないため、方法・手順もない。	委員会によって承認	実施すべき方法・手順がないため、具体的な取組状況もない。	具体的な取組状況がないため、取組の成果もない。	完了	助言、指示等は特にないため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
入試委員会	三島	入試部	B	通常業務を円滑に進行した。	特に改善課題はない。	改善課題はないため、改善目標等もない。		改善目標等がないため、方法・手順もない。	委員会によって承認	実施すべき方法・手順がないため、具体的な取組状況もない。	具体的な取組状況がないため、取組の成果もない。	完了	助言、指示等は特にないため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
カリキュラム委員会	三島	教学部教務担当	B	通常業務を円滑に進行した。	2024年度から開講されるスポーツ科学総論の運営方針を定める必要がある。	2024年度から開講されるスポーツ科学総論の運営方針を定める。	2024年7月	スポーツ科学総論の運営方針についてカリキュラム委員会審議、承認された後、学部の教授会にて審議、承認を得る。	対応の適切性を確認し、委員会において承認				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
教務委員会	藤原(敏)	教学部教務担当	B	毎月の定例委員会開催と、必要な議題について、適宜、審議・報告が行われている。	ゼミ研究レポート抄録の収集の効率化	紙媒体での提出を無くし、電子ファイルのみの提出とする。教員の確認や、データのアップロードなどの関連作業を具体的にどのように進めるのが効果的、効率的かを議論	1月下旬から2月上旬	Googleフォームやドライブを用いたデータの管理、共有方法を整理	対応の適切性を確認し、委員会において承認	2024年度のゼミ研究レポート抄録は、新たな方法で収集された	紙媒体での提出を無くしたことで印刷物の削減はもちろん、ゼミ研究レポート抄録収集と関連作業の効率化に成功した	完了	計画が適切に完了したことを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
FD委員会	森田(啓)	教学部教務担当	A	通常業務を円滑に遂行した。		新任教員への助言として「新任教員座談会」を開催する	5月末まで	5月15日(木)に実施した。	対応の適切性を確認し、委員会において承認	前期授業評価(アンケートおよびフィードバック)の実施。アンケートを6月26日～7月5日で実施し、フィードバックを7月8日～16日で実施した。スポーツ科学部FD委員会共催で研修会を開催した。11月21日(木)タイトル「カリキュラム改革について」山本啓一先生(北陸大学)	アンケートの対象数166コマで実施率は100%。学生の回答率は45.8%。フィードバックは32件であった。	完了	計画が適切に完了したことを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
教職課程委員会	小林	教職支援センター							委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	

研究委員会	平川	庶務部研究支援担当	B	規程に定められた管掌事項について、年間4回の委員会および4つの部会（紀要、在外研究、在外スポーツ、研究会）の開催と、必要な議題について、適宜、審議・報告が行われている。	研究活動の活性化、促進に関する課題を検討する。	1) 在外研究出張、在外スポーツ出張の申請書の書式の改善 2) 紀要への投稿の促進 3) 研究会の開催 4) 中期計画（2022-2026）研究委員会担当項目（教育研究組織の特色を活かした研究プロジェクトの検討、サバティカル制度（国内外）の積極的活用）の推進	1) から3) 2025年3月 4) 2027年3月	年4回程度の委員会開催、および各部会でのメール審議にて決議する。	対応の適切性を確認し、委員会において承認	1) 在外研究出張、在外スポーツ出張の申請書の書式を改善するための原案を本委員会で作成し、教育学部の当該委員会と連携して進めている 2) 原著1編、実践3編、資料1編、事例1編、その他2編の審査を実施した 3) 在外研究員および内地留学をした教員各1名での研究活動報告に関する研究会を実施した 4) 原案を検討している	1) 2025年度から運用できる両学部共通の新書式を作成した 2) 例年通りの掲載数であるため、今後、投稿数を増やす方策の検討が必要である 3) 在外研究員および内地留学によって研究活動を活性化することに原心を寄せる教員を触発する機会となった 4) その促進策や研究プロジェクトについては、具体案の検討に至っていない	実施中	取り組みが継続中であることを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
-------	----	-----------	---	--	-------------------------	--	-------------------------------	----------------------------------	----------------------	--	---	-----	---------------------	-----------------------------

内部質保証シート（附置施設・委員会等用）

- A 例年を上回る良い状況
- B 通常の範囲内
- C 要経過観察
- D 改善を要する

2024年度の重点目標（学長／内部質保証推進委員会）

①昨年度に引き続き、内部質保証のPDCAサイクルと一体化した中期経営計画を推進する。

②昨年度に実施した自己点検・評価シートにより顕在化した改善課題等を把握し、取り組むべき課題を適切に取捨選択するものとする。

③その他、各部局等において可及的速やかに処理しなければならない改善課題、外部評価委員会で指摘された改善課題、内部質保証に係る各種方針の実現、新規制度等の実効性や有効性の検証などの事項について、あらゆる課題を全てPDCAサイクルに乗せる必要はなく、重要性や年度内の解決可能性などを考慮して取り組むべき課題を適切に取捨選択するものとする。

		~5月末まで		~6月第2週まで			6月 第3週	7月～翌年3月			翌年6月 第3週		
部局名	委員長議長	関連部署	自己点検・評価（Check）		改善計画・アクションプラン（Plan）			状況計画の取組状況（Do）			取組状況の評価（Check）		
			評価	概括	改善課題（Action）	課題／改善目標	期 限	方法・手順	内部質保証推進組織による 所見または提言、助言、指示等	具体的な取組状況	取組の成果	進捗状況	内部質保証推進組織による所見
教育学部教授会	金子	庶務部庶務担当						委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
自己点検・評価委員会	中川	庶務部学長室担当	B	通常業務を円滑に遂行した。	具体的な方法について、十分な検討がされていないまま行われている現状である。	内部質保証システムの具体的な方法の明確化	2025年3月	委員会において承認				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
人事審査会議	金子	庶務部庶務担当						委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
人事委員会	金子	庶務部庶務担当						委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
予算委員会	金子	庶務部研究支援担当						委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
入試委員会	金子	入試部						委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する		取り組みにより学部生の長期留学、短期海外研修を実施でき、一定の成果が得られた。しかし受け入れる際の宿舍の整備が行われておらず、今後、国際交流を進める上で重要なことは予算の確保と宿舍の整備である。		同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
カリキュラム委員会	金子	教学部教務担当						委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。

教務委員会	竹内	教育学部教務担当							委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する			同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大原体育大学公式HP』において適切に公表されている。
F D委員会	八木	教育学部教務担当							委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する			同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大原体育大学公式HP』において適切に公表されている。
教職課程委員会	藤原(彰)	教職支援センター							委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する			同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大原体育大学公式HP』において適切に公表されている。
研究委員会	加藤	庶務部研究支援担当							委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する			同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大原体育大学公式HP』において適切に公表されている。

内部質保証シート（附置施設・委員会等用）

- A 例年を上回る良い状況
- B 通常の範囲内
- C 要経過観察
- D 改善を要する

2024年度の重点目標（学長／内部質保証推進委員会）

①昨年度に引き続き、内部質保証のPDCAサイクルと一体化した中期経営計画を推進する。

②昨年度に実施した自己点検・評価シートにより顕在化した改善課題等を把握し、取り組むべき課題を適切に取捨選択するものとする。

③その他、各部局等において可及的速やかに処理しなければならない改善課題、外部評価委員会で指摘された改善課題、内部質保証に係る各種方針の実現、新規制度等の実効性や有効性の検証などの事項について、あらゆる課題を全てPDCAサイクルに乗せる必要はなく、重要性や年度内の解決可能性などを考慮して取り組むべき課題を適切に取捨選択するものとする。

		～5月末まで		～6月第2週まで		6月 第3週		7月～翌年3月		翌年6月 第3週				
部局名	委員長	関連部署	自己点検・評価 (Check)		改善計画・アクションプラン (Plan)			内部質保証推進組織による所見または提言、助言、指示等		状況計画の取組状況 (Do)		取組状況の評価(Check)		
			評価	概要	改善課題 (Action)	課題/改善目標	期限	方法・手順	具体的な取組状況	取組の成果	進捗状況	内部質保証推進組織による所見	公表状況	
情報処理センター	堤	情報処理センター	B	学生持込PCを前提としたネットワークの構築（前年度からの継続）に係る取り組みとして、 1. 大学教研ネットワーク入口の広帯域化および教室Wi-Fi収容数のより一層の拡大のため特別予算申請 2. 教室、A号館2階キャリア支援部、A号館3階ラーニングコモンズ、A号館4階図書館、A号館7階会議室における認証LAN方式による教研ネットワークの利用の実現 を実施済みであり、前年度末までの実施を目標としていた内容については全て達成できているが、1の2024年度予算での不採択が決定している。したがって、本件については、本年度再度実施を計画せざるを得ない状況にある。	学生持込PCを前提としたネットワークの構築（前年度からの継続）	大学教研ネットワーク入口の広帯域化・複数方式化、教室Wi-Fi収容数のより一層の拡充を行う。また、特にラーニングコモンズ×デジタルスポーツスクエアに配置されているN202/N203教室および旧情報処理実習室Bについては、学生持込PC、メタバース、IoT機器の利用を両立できるネットワークへと拡充する。	2025年3月末	関連機器更新のための 1. 基本設計 2. 必要経費の算定 3. 予算申請 4. 一部機器・方式整備（教室有線LANの認証VLAN化） については、2024年度末までに終了している（特別予算申請済み、2024年は不採択である）。この既計画を基本として、さらに 1. 設備の再見直し 2. N202/N203/旧情報処理実習室Bネットワークの再設計 3. 必要経費の再算定 4. 予算申請 を実施する。	委員会において承認	令和6年度第3回情報処理センター委員会にて、情報処理センターが独自に定める「中期計画（ICT設備）」の見直しについて審議を実施し、無線および有線ネットワーク設備の更新年度を2025年度とすることが再確認されたことに基づき、次年度更新に向け、その詳細設計および見積もりを実施した。合わせて、情報処理センター委員会に対して、本件に係る令和7年度特別予算申請の審議を依頼した。	次年度の設備の更新を目標に詳細設計と見積もりを実施した。また、情報処理センター委員会に、本件についての審議を依頼した。	実施中	取り組みが継続中であることを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
			B	セキュリティの向上を目的とした認証要件・方式の改善については、前年度目標としていた詳細仕様の策定と予算申請についてはどちらも実施済みである。しかし、本予算申請についても2024年度については見送りとなっている。従って、本件については本年度再度詳細仕様の再策定から実施し直さなければならない状況である。	セキュリティの向上を目的とした認証要件・方式の改善（前年度からの継続）	パスワードの複雑さの要件の見直し、およびパスワードレス認証を令和9年度からの全面施行を目標として実施する。	2025年3月末	法人・大学基盤システムの更新（2026年度を予定）に組み込む形での実施を行えるよう、 1. 方式、必要機器、概算費用の調査 2. 基本設計 を実施する。	委員会において承認	セキュリティの向上を目的とした認証要件・方式の改善時期の適切性について再検討を実施し、情報処理センター委員会に対して、その検討結果の審議を依頼した。なお、必要機器、概算費用の調査、基本設計については実施は継続して行っている。	セキュリティの向上を目的とした認証要件・方式の改善時期の適切性について再検討を実施し、報処理センター委員会に、本件についての審議を依頼した。	実施中	取り組みが継続中であることを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
スポーツ科学センター	菅生	スポーツ科学センター							委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
社会貢献センター	中山	社会貢献センター							委員会において承認 なお自己点検・評価及び改善計画について記入するよう依頼する				同委員会に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
学習支援室	長尾	庶務部庶務担当	B	1について一定の改善はあったものの、増え続ける要支援の学生にサポートが追いつかない現状である。とくに、留学生への日本語教育は、十分な数のチューターの養成や確保ができず、一部の教員のボランティアによって支援が実施されている。2、3は順調に進められている。4のラーニングコモンズ×デジタルスクエアは、学習支援のほかに少人数の授業や補習のためにも使用しながら、机、椅子、モニターなどの整備を1月に完了した。今後はラーニングコモンズとして本格的に稼働できるように、監督者の配置や中央棟の本部でモニタリングできる仕組みを整えていく必要がある。	1. 要支援学生への対策強化 2. チューター、ピアチューターの効果的な運用 3. 入学前教育の強化 4. N202,N203教室のラーニングコモンズとしての環境整備	1. ・要支援学生の抽出と定期来室の実現 ・スタッフの学習支援技術の向上や方策の改善 2. 適切なチューター配置と運用 3. 困難が予想される新入生への対策強化 4. ・什器の設置を完了させる ・必要な監督者をおき、適切に管理できる環境をつくる	2025年3月末	1. ・関係他部署との連携 ・学習支援に関する研究や研修の推進 2. 新規の採用と現在の配置の見直し 3. 浪商高校と連携して入学前教育を行う 4. 予算を確保して進める	委員会において承認	1. ・教養教育センターでリストアップし、スポーツ局や教養課で面談をセッティングした学生の定期来室を実施した。2,3月には、運動部顧問からの紹介によって来室した来年度入学予定の留学生2名に日本語の補習を行った。 ・学習支援室主任が日本リメディアル教育学会大会、UeLA（大学eラーニング協議会）&JADE合同フォーラムに参加した。合同フォーラムでは本学チューターらが実践報告を行った。 ・委員長と主任が大手前大学ラーニングコモンズの施設見学を行った。 ・2021～2023年度活動報告を作成した（『大阪体育大学紀要』vol.56）。 2. 適正になるように調整を進めた。 3. 浪商高校関係者と打ち合わせ（10/24）の上、内部進学者対象の入学前教育をラーニングコモンズで行った（12/12～）。 4. 予算確保や什器の配置はラーニングコモンズ×デジタルスクエアの整備として行われ、教養課の案について学習支援室の意見や要望を述べ、取り入れられた。部屋の鍵は教養課で管理し、開設施設は学習支援室が行っている。	1. 一定の成果が見られた 2. 今年度の状況を考慮して次年度の予算申請やスタッフ募集に反映させる 3. 入学前教育の成果は2025年度新入生の状況を見てこれから判断する 4. 一応の整備は出来たが、部屋の管理者やモニターの設置が不十分なため完全に効果的に運営出来ているとは言えない	実施中	取り組みが継続中であることを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
国際交流センター	前島	国際交流センター	B	国際交流プログラムの充実、留学生の受け入れ増大、グローバル人材の育成に向けた国際交流奨学金制度の構築とそれを利用した交流の実施	予算の確保 留学生受け入れにおける環境整備	各部署（大学院、学部、スポーツ局など）との連携	2025年3月末	予算の確保を進める、各部署と連携する、交流プログラムの立案と参加学生の募集・事前研修の実施	委員会において承認	シンガポール研修を実施し15名の学生が参加した。協定校である西安体育学院から4名の短期交流留学生を受け入れた。学部生1名の西安体育学院1年間留学を実現。	取り組みにより学部生の長期留学、短期海外研修を実施でき、一定の成果が得られた。しかし受け入れの際の宿舍の整備が行われておらず、今後、国際交流を進める上で重要なことは予算の確保と宿舍の整備である。	完了	計画が適切に完了したことを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
図書館	前島	図書館事務室	B	通常業務は円滑に遂行した。 2024年度は、2024年度図書館予算（2023年度より減額）より配分の図書費の予算内での執行に向けた外国雑誌の削減等の課題に特に取り組んだ。	減額となった2024年度図書費の予算内での執行に向け、次のように支出削減を検討する。 ・外国雑誌（冊子体・電子ジャーナル）の購読中止タイトル等の検討（2025年更新時） ・一部データベース等の更新中止の検討	2024年度図書費の予算及び外国雑誌の毎年の値上がりや円安による価格の高騰に照らし、約3,000万円分の支出を削減する。	2024年10月末	・外国雑誌（冊子体、電子ジャーナル）については、2024年更新時の支払い価格、業者からの2025年1月更新の見積もり額及び把握可能な利用統計等も参照し、2025年から購読を中止するタイトルを抽出する。 ・一部データベースについて、中止可能なサービスを検討する。	委員会において承認	・外国雑誌の購読中止案については、6月に開催した図書館委員会にて、図書費予算案等の議題に併せて1回目の購読中止案を決議し、7月の教授会にて報告した。引き続き、10月開催の図書館委員会にて、追加の購読中止案を決議し、11月の教授会にて報告した。 ・データベースについては、和文データベースMagazinePlusの更新中止を6月開催の図書館委員会にて決議し、7月の教授会にて報告した。なお、支出削減に向けては、先ずスポーツ文庫データベース SPORTDiscus with Full Text（全文情報あり）のSPORTDiscus（全文情報なし）への切替え（2024年7月更新）について、図書館委員会にて決議のうえ4月の教授会にて報告したが、SPORTDiscus with Full Textによる更新の要望が出されたため、図書館以外の予算による補填により、2024年度は変更なく更新した。	取組により、約3,000万円分の支出削減の見込みとなり、2024年度図書費予算による支出は、外国雑誌更新の支出を含め予算内に収まる見込みとなった。購読を中止する外国雑誌タイトルについて、必要な論文等の入手は、相互利用等を利用したことで、今後の外国雑誌等の図書費削減の充実に向けた再検討の情報としたい。また、当該図書費削減の充実と併せて、今年度のSPORTDiscus with Full Text 更新時の図書費外予算からの補填分や外国雑誌の毎年の値上がり分等について充分対応できる予算組みも今後必要である。	完了	計画が適切に完了したことを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。